# 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月6日

上場会社名 株式会社 常陽銀行

上場取引所 東

ユード番号 8333 URL h

33 URL <u>http://www.joyobank.co.jp/</u> (役職名)取締役頭取

代表者 (役職名)取締役頭取 問合せ先責任者(役職名)経営企画部長 (氏名)鬼澤 邦夫 (氏名) 笹島 律夫

(氏名) 笹島 律夫 TEL

TEL 029-300-2604

四半期報告書提出予定日 配当支払開始予定日

日 平成21年8月13日

特定取引勘定設置の有無有

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日~平成21年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	41,778	△10.8	3,349	△52.2	3,231	△48.5
21年3月期第1四半期	46,886	_	7,008		6,275	_

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益	
	円銭	円銭	
22年3月期第1四半期	4.18	_	
21年3月期第1四半期	8.00	_	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	7,469,553	405,806	5.4	523.25
21年3月期	7,414,285	374,881	5.0	483.21

(参考) 自己資本

22年3月期第1四半期 404,447百万円

21年3月期 373.511百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出する自己資本比率(国内基準)については9ページをご覧ください。

# 2. 配当の状況

	1株当たり配当金					
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円 銭	円 銭	円銭	円 銭	円銭	
21年3月期	_	4.00	_	4.00	8.00	
22年3月期	_					
22年3月期 (予想)		4.00	_	4.00	8.00	

<sup>(</sup>注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日~平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収	又益	経常和	引益	当期純	利益	1株当たり当期純利 益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	84,000	△17.9	10,500	3.9	6,200	43.7	8.02
通期	167,000	△13.6	21,000	952.3	12,500	141.3	16.17

<sup>(</sup>注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有 [(注)詳細は3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
  - ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
  - ② ① 以外の変更 無
  - [(注)詳細は3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
  - ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 822,231,875株 21年3月期 822,231,875株 2 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 49,286,544株 21年3月期 49,254,351株 3 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 772,963,590株 21年3月期第1四半期 784,154,447株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当行が合理的と判断する一定の予測に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。